

長野県木曾青峰高等学校 令和6年度第1回学校評議員会 記録

日時 令和6年8月30日（金）午後3時30分から午後5時00分

場所 木曾青峰高等学校会議室

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓会副会長・定時制教育振興会長・木曾町中学校長
信州木曾看護専門学校副学校長
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任・
進路指導主任・生徒支援主任・1学年主任・2学年主任・3学年主任・
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

～ご質問・ご要望等～

■SNS、スマホの利用について、インターネットを使うことは必要。したがって、メディアリテラシーをもう一度学ぶ必要があると感じる。スマホなどの正しい使い方について、講師を招いて学ぶ機会を。

→前向きに検討していきます。

■木曾谷・伊那谷フォレストバレーのキックオフイベントがあった。木曾は全国的に見ても良い環境である。木曾の木、森林の力を生かして、魅力とパワーを発信していただきたい。そのお手伝いをしていきます。

→全国募集も控えておりますので、積極的に発信していきたいと思えます。

■定時制について、「4年で卒業しなくても大丈夫。じっくり時間をかけて。」とはどのようなことか。

→本校の生徒は、不登校を経験してきている生徒が多い。そのため、入学時から「自分のペースに合わせて、ゆっくりやっていい」と伝えている。本人の気持ちを大切に、家庭と連絡を密に取りながら進めている。また、生徒たちは、自分のことをある程度理解している。下の年齢の生徒と同じクラスになっても気にしていない。

■精神的に幼い子供たちがいる。どのように対応しているか。

→1学年全体で、SSTとしてYouTubeのいじめ防止に関するわかりやすい動画を利用して学ぶ機会を設定した。職員に対する研修も考えている。

■本来、相手の目や口元などの表情から、その人の感情を知るということを学ぶ時期が小学校高学年の時期にあたる。しかし、現在の生徒たちは、その時期に新型コロナの関係でマスクを着用余儀なくされた。その影響で、中学生の時期に社会性の部分で課題を抱えている。中学と高校で連携して、集団作りを丁寧をお願いしたい。

→連携を取りながら丁寧に対応していきたい。

■個人タブレットの購入が始まった学年が3年生となった。3年間使用したタブレットの今後についてだが、卒業後も使用する生徒もいれば不要になる生徒もいる中で、不要になった生徒のタブレットの使い道を検討してほしい。可能であれば学校に寄付することもよいのではないか。

→個人情報の問題等があり、慎重に検討していきたい。

■修学旅行の宿泊数の一定化を検討してほしい。学年によって旅行計画に差が出ると生徒も保護者も納得いかない部分が出てくる。景気が不安定で物価上昇が進み、規定等もある中で満足した旅行計画を立案するのは難しいところだが、ぜひ知恵を出し合って計画してほしい。

→11万円という県の縛りがある。その範囲で実施できるように検討している。今後について、3日を維持できればと思う。

■生徒のアルバイトについて。木曾町と王滝村の行政が人手不足の解消に高校生のアルバイトの受け入れを推進するといった動きがある。近隣の高校ではアルバイトは、許可制となっているため非常に助かる部分はある。青峰も人手不足の一端を担えるよう規制緩和をしてみてもどうか。

→商業科については、アルバイトの制限は緩い。その影響で部活動が成立していない。また、優先順位は学校での生活が最優先である（部活動も含む）。

～その他ご意見～

○授業を参観させていただいた。どの生徒も真剣に取り組んでおり、感心した。また、公立校でトイレの改修がされており、素晴らしいと感じた。

○全国募集に向けて、同窓会としても協力し、体制作りが大切である。

○職員の教育活動への協力で頭が下がる。地元の公務員や大学生等素晴らしい結果を残し、全員に敬意を示す。

○山林、木曾東、木曾西、木曾の同窓生を地域発展のために利用してもらいたい。そのための協力はしっかりする。

○木曾郡の発展のために、また、木曾郡の魅力ある高校になるように頑張ってください。

○「温故知新」という言葉がある。ぜひ、OB・OGを使ってください。

○勉強する環境、交友を深める環境作りをお願いします。

5 その他

6 閉会